
アダム・スミスの文体論より 一性格論一

空藤胡蝶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アダム・スミスの文体論より ―性格論―

【Nコード】

N3712Q

【作者名】

空藤胡蝶

【あらすじ】

ある学校の昼休み、姉の直と妹の純が互いのことを見ての思いをつらつらと書いてみました。

(前書き)

アダム・スミスの文体論の中の？性格論を私なりに解釈して当てはめてみたものです。

授業で聞きかじっただけなので実際とはかなり違う可能性がありますのでご注意を：

「でね、純が…」

明るく柔らかな声が昼休みの教室に響く。ちらりとそちらに視線を向けると妹の純がクラスメイト数名と談笑していた。

私の妹の純は綺麗で、感受性が豊かで表情がくるくる変わり誰からも愛される：そんな絵に描いたような子だ。身内の鼻目なんかじゃない。周囲が勝手に過大評価して彼女を表現するときを決まっ
て「パーフェクト・ガール」と言われる。

だが、パーフェクトな人間なんていない。

実際、純はどこか軽薄な面があり、たまに凄いミスをする。そんな時に限って虚栄を張ったりしちゃうものだから始末が悪い。彼女に反感を持つ人たちは決まって軽蔑の視線を向けてくるのだから分かりやすいにも程がある。

今も教室の反対側から純に対して負の感情が向けられている。

それすらもにこにこと流してしまうのだから我が妹ながら天晴れと言いたくなる：十分身内びいきだな、やれやれと首を振った。

「直先輩！」

教室のドアがガラツと開けられたかと思えば後輩の声がした。も

つともその前からバタバタと廊下を走る音が聞こえてきていたから驚きはしないけど：周りの子たちは驚いたようと呼んだ人と呼ばれた人の両方をかわるがわる見つめている。

「どうしたの？それと、どんなに急いでいるとはいえ、生徒会役員たるあなたが走っては示しがつかないでしょう。」

読んでいた本を閉じ、立ち上がりながら言う直

私の偉大なる姉。本来なら双子は同じクラスにはなれないけれど成績でクラスが決まるシステムだから自然と同じクラスとなった。そしてその中でも優秀な姉は生徒会長様だ。

とにかく私の姉は芯が強く自分に厳しい。そんな姿勢が格好いい、と学年・性別を問うことなく誰からも尊敬されている。我が家きつての自慢の人。たまに私を「パーフェクト・ガール」と呼ぶ人がいるけれど、私は姉にこそこの呼称がふさわしいと思う。しっかり者の姉と調子のいい妹：典型的な姉妹だろう。

でも：厳しい姉だからこそ、この学校の頂点にいるからこそ、高慢だの冷酷だのと嫌悪の視線を向ける人は多い。

ほら、今も姉の言い方がきついと後輩に憐みをむける人たちがいる。あの後輩からしたらいい迷惑だろう。何といっても彼女は姉をととても慕っているのだから。勘違いをしている人たちに私はくすりと笑いをもらした。

とある日の昼休み、双子の姉妹紹介

（後書き）

お読みいただきありがとうございます。偉大な対象としての「率直型の人」、直と善良な対象としての「単純型の人」純、私なりに長所と短所を織り込んで書きあげてみました。

なにかご指摘がありましたら遠慮なくどうぞ。感想もお待ちしています！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3712q/>

アダム・スミスの文体論より 一性格論一

2011年1月28日00時39分発行